地域学だより

令和元年６月１３日
Ｎｏ．７
白　老　東　高　校

６月３日（月）の授業ではアイヌ民族文化財団から八幡巴絵さんが再び講師として来校され、アイヌの伝統楽器や古式舞踊について、映像を使いながら説明してくださいました。



ムックリ（口琴）



トンコリ（３～５弦の弦楽器）



アイヌの様々な古式舞踊の映像を見ながら解説しています

アイヌには子守歌、労働歌（脱穀や舟こぎなどで作業効率をｕｐさせる）、即興歌舞、ねずみとり唄や馬追い唄などの娯楽歌のほか、鶴の舞やバッタの動きをまねしたバッタギなどの模倣、刀の舞や送り儀礼など儀式のための歌舞があるそうです。私たちがイランカラプテ音楽祭で披露する古式舞踊、イオマンテリムセは白老に伝わるクマの霊送りの踊りで、儀式的な歌舞に分類されます。儀式的な歌は歌詞の意味が全くとれないものが多いそうですが、イオマンテリムセの歌詞も確かに面白い発音のかけ声が次々と続きます。

私たちがイオマンテリムセの踊りの練習をしていることを知ると、何と！放課後、文化財団の八幡さんと押野さんがわざわざ来校されて、特別に踊りの講習をしてくださいました。しかも、黒板には図解入りです。

イヤィラィケレ！！

